

平成21年度 法科大学院入学者選抜試験問題

刑 事 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、刑法、刑事訴訟法の2科目で80分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペン（鉛筆は不可）またはボールペンを使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
 - (2) 刑法の解答用紙は、2枚あります。2枚目の解答用紙にも受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
 - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
 - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【刑法】

Xは、友人Yに睡眠薬の袋を見せて「この薬を飲ませれば楽に金が盗れるぜ」などと持ちかけて、同意を得た。

両名は、客が少なく容易に犯行を実行できそうな店を探したところ、Aの経営するスナックをみつけた。Xは店の中に入り、Yは見張り役として店の外の入口付近に待機していた。Xは、客が自分のほかにいなくなった頃をみはからって、カウンターの中にいたAにしきりにウイスキーを飲むように勧め、Aを酔わせるように仕向けた。そして、Aのすきをうかがってグラスに睡眠薬を入れ、これを同人に飲ませたが、Aは、意識がもうろうとしただけで、眠り込むまでには至らなかった。

しびれをきらしたXは、Aを殺害して金品を奪取しようと考え、カウンターの中に入ると、近くにあった包丁を手に取り、Aの腹部を刺した。Aがうずくまって倒れたことから、Xは、カウンター内のAの鞆の中にあつた現金約20万円やクレジットカードなどを奪って、店外に出ると、Yに「金を盗ってきたぞ」とだけ告げ、両名は逃走した。

Aに金を借りにきたZは、店の勝手口が開いていたので入ったところ、XがAを刺したのを目撃し、見つかると自分の身が危ないと思い、Xが金品を奪う様子を物陰から見ただけであった。Xが立ち去った後、Zは、Aの身に付けていた高級腕時計を奪ったが、Zが奪う少し前にAはXの犯行により、すでに死亡していた。

XおよびY、Zの罪責について論じなさい。ただし特別法違反の点は除く。

[配点80点]

【刑事訴訟法】

問1 甲は、平成20年6月10日にA宅に侵入し、現金30万円を窃取した容疑で同年7月20日逮捕され、勾留のうえ同年8月10日常習累犯窃盗罪（盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律第3条）で起訴された。その後、甲が同年5月4日にB宅に侵入し、現金15万円と貴金属数点（時価合計50万円相当）を窃取したとの事実が判明したとき、甲を上記B宅での被疑事実で逮捕し、勾留することができるか。

〔配点20点〕

問2 画商乙が名画と偽り模造画をXに売却したとする被告人乙に対する詐欺被告事件において、上記代金支払いに際し、乙の経理担当者Yが作成し、Xに交付した乙画廊名義の領収書を、被告人乙側の同意なくして証拠として取り調べることができるか。

〔配点20点〕